

# 但馬地域ビジョン 2050

2022(令和4)年3月

新但馬地域ビジョン検討委員会  
兵庫県但馬県民局



# 但馬地域ビジョン 2050（目次）

（ページ）

第1章 但馬地域ビジョン 2050	1
第2章 但馬地域ビジョン 2050 がめざす新しい但馬の暮らし	4
【地域像Ⅰ】 世界に誇る魅力を継承し、世界に輝く新たな魅力を創造する地域	
【地域像Ⅱ】 垣根を越えた新たな人との交流・つながりを実現する地域	
【地域像Ⅲ】 多様性を認め合い、誰もが輝き夢の実現にチャレンジできる地域	
【地域像Ⅳ】 次代を担う若者や子どもたちがイキイキ育ち暮らす地域	
【地域像Ⅴ】 生活環境が充実した暮らしやすい地域	
第3章 但馬地域ビジョン 2050 を実現するために	15
第4章 参考資料	19
○ 但馬地域の現状	
○ 住民の声（デザイン会議、フォーラム、語る会、アンケート、ヒアリング）	
○ 新但馬地域ビジョン検討委員会（委員名簿、開催状況）	

## 但馬地域ビジョン 2050 とは

但馬地域ビジョン 2050 は、全体の骨太な将来像である「全県ビジョン」の下、但馬地域の特性を踏まえ、地域住民が共有できる「但馬の未来の姿」と「地域像」などを提示するものです。

## 第1章 但馬地域ビジョン 2050

但馬地域ビジョン（現行ビジョン）の策定から20年が経過し、人口減少・超高齢化、AIやICTなどのテクノロジーの進化、気候変動や生物多様性などの世界共通課題の深刻化により、社会は大きく変化してきました。特に、2020年に拡大した新型コロナウイルスの脅威は、否応なしに日々の暮らしや社会のあり方に影響を与えています。

このような大きな変化を迎えるなか、新但馬地域ビジョン検討委員会において、SDGsが掲げる誰一人取り残さない社会への変革を意識し、将来の夢や地域像についての住民同士の対話や小・中・高校生の声をもとにして、30年先の未来社会を見据えた地域づくりの「羅針盤」として、新たな地域ビジョン 但馬地域ビジョン 2050 をつくりました。

但馬地域ビジョン 2050 は、「2050年但馬の未来の姿」を描いており、その実現に向けて、わたしたち住民に何ができ、何をしなければならないかを考え、但馬のよりよい未来につなげていくものです。

### 1 但馬の未来の姿とめざす5つの地域像

#### 2050年 但馬の未来の姿



つながる、**た**から**じま** ～みんな<sup>つ</sup>で創る ワクワク但馬～

「**た**から**じま**」には、「但馬から（未来へ・世界へ）発信する」、  
「但馬カラー（色・らしさ）を大切にする」という想いを込めています

#### めざす5つの地域像

2050年の但馬の未来の姿を示す5つの地域像です。

【地域像Ⅰ】	【地域像Ⅱ】	【地域像Ⅲ】	【地域像Ⅳ】	【地域像Ⅴ】
世界に誇る魅力を継承し、世界に輝く新たな魅力を創造する地域	垣根を越えた新たな人との交流・つながりを実現する地域	多様性を認め合い、誰もが輝き夢の実現にチャレンジできる地域	次代を担う若者や子どもたちがイキイキ育ち暮らす地域	生活環境が充実した暮らしやすい地域

## 2 ビジョンの役割・展望年次・展開

### ビジョンの役割

但馬地域ビジョン 2050 は、但馬の未来の姿を示し、その実現に向けて、但馬の住民、企業、行政などがともに地域づくりを積極的に進めていくための羅針盤です。

### ビジョンの展望年次

但馬地域ビジョン 2050 がめざす時期は、21 世紀の折り返しとなり、今の子どもたちが社会の中心として活躍する 30 年後の 2050 年としています。

### ビジョンの展開

但馬地域ビジョン 2050 を但馬の住民、企業、行政と共有し、未来づくりの取組を行うことが、但馬地域ビジョン 2050 を活かし、地域を発展させることにつながります。

## 3 地域の現状・ポテンシャル

但馬は、過疎地域の増加や少子・高齢化などの課題がある一方、生物多様性に富んだ豊かな自然や多彩な食、山陰海岸ジオパークや日本遺産など世界に誇る資源に恵まれています。最近では、芸術文化観光専門職大学の開学、豊岡演劇祭の開催、コロナ禍を契機とした地方回帰と言われる移住者の増加など、未来につながる新たな動きが始まっています。

### 人口減少、少子・高齢化

人口減少：20.0 万人（2000 年） → 15.5 万人（現在）

高齢化：高齢化率 29.5%（2000 年） → 37.2%（現在）

若者流出：高校を卒業した子どもの 80%以上が但馬外に進学・就職

### 魅力的な食と世界に誇る観光

一次産業：但馬牛、カニ、ホタルイカ、朝倉山椒 など世界に誇る豊かな食資源

二次産業：豊岡鞆、レース用バイクパーツ製造など多数のオンリーワン企業

三次産業：多くの温泉（城崎温泉、湯村温泉など）、海と山（海水浴とスキー）、竹田城跡、国内外で高い評価を受ける多彩な観光資源



但馬牛



湯村温泉



ハチ高原スキー場

### 交通網の整備進展

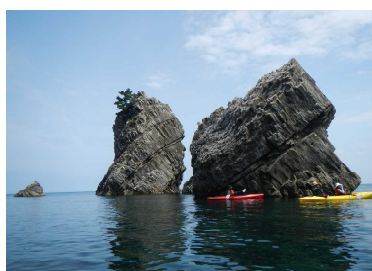
北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道の整備進展、コウノトリ但馬空港の利便性向上（新型機の導入）等

## 人柄・住民の地域への想い

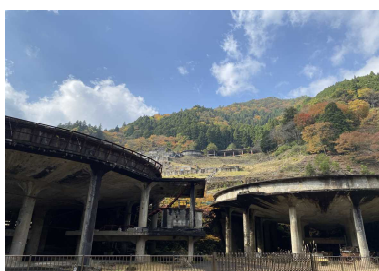
心優しくて奥ゆかしい、地域を盛り上げる活動へ積極的に参加、高い防災意識、ゴミの分別など高いリサイクル意識、当事者意識に基づく地域への自負心（シビックプライド）はやや低い 等

## 地域のポテンシャル、未来につながる新たな動き

豊かな自然（円山川、上山高原、山陰海岸国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園 等）ユネスコ山陰海岸ジオパーク、日本遺産（銀の馬車道鉱石の道、北前船寄港地、麒麟獅子舞）、日本農業遺産（但馬牛システム）、コウノトリ野生復帰、芸術文化観光専門職大学開学、豊岡演劇祭の開催、ASAGO 芸術音楽祭の開催、移住者の増加（地方回帰の動き） 等



ジオパーク(香住海岸)



神子畑選鉱場跡



芸術文化観光専門職大学

### 『国連 2030 アジェンダとSDGs』を見据えて



2015年9月の国連持続的開発サミットで「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ(2030アジェンダ)」が国際合意され、SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)が策定されました。SDGsは17のゴール・169のターゲットから構成され、誰一人取り残さない持続可能なよりよい世界を目指す国際目標です。但馬地域ビジョン2050では、2030アジェンダとSDGsのめざす方向性を踏まえて、2050年の地域像を提示しています。



## 第2章 但馬地域ビジョン 2050 がめざす新しい但馬の暮らし

但馬地域ビジョン 2050 の「但馬の未来の姿」と「めざす5つの地域像」がつむぎだす 2050 年の但馬の暮らしを【但馬の未来物語】で紹介します。



世界に誇る魅力を継承し、世界に輝く新たな魅力を創造する地域

実現に向けた大切な視点

○豊かな自然・食など但馬の魅力強化と次代への継承

但馬には、世界に誇る海と山、四季折々の生物多様性に富んだ豊かな自然があります。古蹟、山陰道、北前船、生野銀山、竹田城跡などの歴史や文化、ジオパークや日本遺産、野生復帰が進むコウノトリなどの地域資源、但馬牛やカニをはじめとする農水産物など数々の但馬らしい地域資源があります。これらの良さを再認識し、また、新たな魅力を発見することで、これらをさらに発展させて次代につないでいきます。

○地域住民と来訪者が共に楽しむ新たな地域の魅力の創造

地域のお祭りやさまざまな演劇・音楽などに触れる場があふれ、誰もがわくわくする体験や今までにない面白い体験ができ、知と実践の拠点である芸術文化観光専門職大学との連携による地域の進化や国際的にも注目を集める演劇祭の開催など、世界の中で輝きを放つ但馬独自の地域の魅力を創造します。

【地域住民の声】

- 今ある資源を全国、世界が認めるものに
- 演劇文化の拠点に
- 世界の中の但馬という視点が必要
- 夜の観光をもっと強く
- 自信を持って地元の良さを伝えられる環境づくりが大切

若者の声

- 今と変わらず自然がいっぱいで豊かであってほしい
- 地域の原風景や文化が残っていてほしい





## 【但馬の未来物語 I (2050 年のある日 : 30 歳 会社員)】

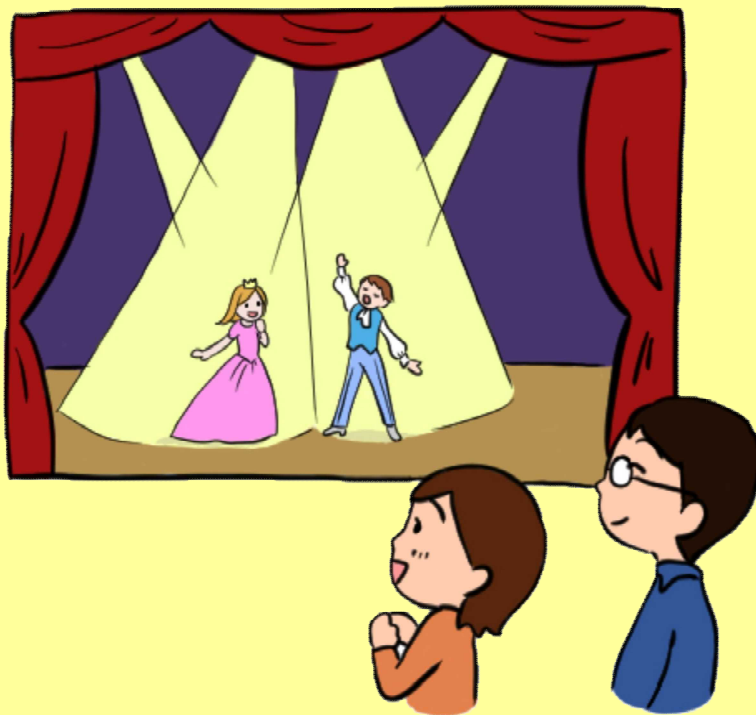
但馬に生まれ、但馬に育って約 30 年が経った。海、山、川で子どもの頃から家族キャンプや学校行事で幾度となくコウノトリが舞う但馬の豊かな自然の中で遊んだものだ。今ではその自然がジオパークとして定着し、有名になった。

ホタルイカ、ハタハタ、松葉ガニ、ブドウ、そして但馬牛のすき焼きなど旬の食べ物や名物が食卓に並んでいる。両親は、「食べ物が美味しいのは昔から変わらんねえ」と嬉しそうにいつも話している。

発展したと言えば、私が生まれた 2021 年に開学した「芸術文化観光専門職大学」には、地元だけでなく全国各地から多くの学生が学んでいる。大学を卒業した学生には、但馬で暮らし、演劇や芸術の力を活用した会社を起こしたり、観光に関わる仕事に就いた者もいる。そのおかげか、地元で働く若者も多くなった。

毎年、秋には但馬国際芸術祭が行われ、世界中から多くの人々が訪れている様子は、まるで但馬がブロードウェイになったような光景だ。今では「T A J I M A」の名は世界にとどろいている。

変わらない部分、発展した部分、様々だが、今日も私は、大好きな但馬で生きている。



※めざす地域の姿をイメージしやすいように、大切な視点ごとに 1 つの事例を「但馬の未来物語」としてまとめました。

# 垣根を越えた新たな人との交流・つながりを実現する地域

## 実現に向けた大切な視点

### ○新たな交流の促進による地域の活力や持続性の向上

但馬は、地域コミュニティの結びつきが強い地域とされています。しかし、若者と高齢者、外国につながるのある人と地域住民、移住者と地域住民などで、遠慮があったり距離を置くことがあります。これらの垣根を越えていろいろな人と交流し、新たな関係を築いていくことで地域の活力や持続性を高めます。

### ○新技術による魅力発信強化と国内外との新たな交流の促進

但馬の自然や食べ物などの地域の魅力を積極的に発信し、ICTなどの新たな技術も積極的に活用していくことで、世界中の人と物理的な距離を超えて、新たな交流を広げていきます。

## 【地域住民の声】

- 但馬内でのつながりを大切に
- 性差、年齢等にとらわれず、発言できる場を
- つながりがある優しい社会へ
- 多世代交流が行われる社会に
- 若者も高齢者も楽しくコミュニケーションできる場を

若者の声

- いろいろな国の人と協力できる社会に
- 但馬の魅力が世界に知れ渡り、訪れた人と現地の人が交流出来る



## 【但馬の未来物語Ⅱ（2050年のある日：高校生）】

「おはよう、いってらっしゃい！」朝自転車で通り過ぎる私を見かけると、近所のお年寄りや大人の人が気軽に声をかけてくれる。小さな頃から秋祭りや地域のイベントに関わってきたので、気軽に話せる大人の知り合いがたくさんいる。高校生になった今でも可愛がってくれる。

外国暮らしの長かった友達は、地域イベントで地区の一員としてバザーのお店を開いている。地域の人たちとの他愛のない会話がとても楽しいと話していた。

小学生の頃におばあちゃんの家で両親と共に引っ越してきた友達は、今ではすっかり地域のリーダー役になっている。

来月には、但馬国際芸術祭があって、私もボランティアスタッフとして協力を頼まれている。高校生の発信力を見込んで情報発信を任された。やるからにはたくさんのお客さんに来てもらいたいな。

VR※技術やAR※技術を使って海外からも参加できる時代になった。但馬の魅力が世界中に広まっていったらいいな。海外の友達が遊びに来たら、ちゃんと案内して楽しんでもらえるように、今のうちに地元の魅力をもっともっと知っておかなきゃ！



※VR：Virtual Reality（仮想現実）。コンピュータが作り出した空間や世界を体感できる技術

※AR：Augmented Reality（拡張現実）。実在する風景にバーチャルの視覚情報などを重ねて表示することで、目の前にある世界を仮想的に拡張する技術

多様性を認め合い、誰もが輝き夢の実現にチャレンジできる地域

実現に向けた大切な視点

○個性が尊重され、誰もが多様性に富む暮らしを楽しみ輝ける地域

性別や年齢、障がいの有無、出身国などにかかわらず、誰にも居場所や役割があり、自分らしく生きられることが大切です。多様な個性を尊重し受け入れ、むしろ多様であることを楽しみ、誰もが活躍できるようにします。

○夢をかなえるフロンティア但馬の実現

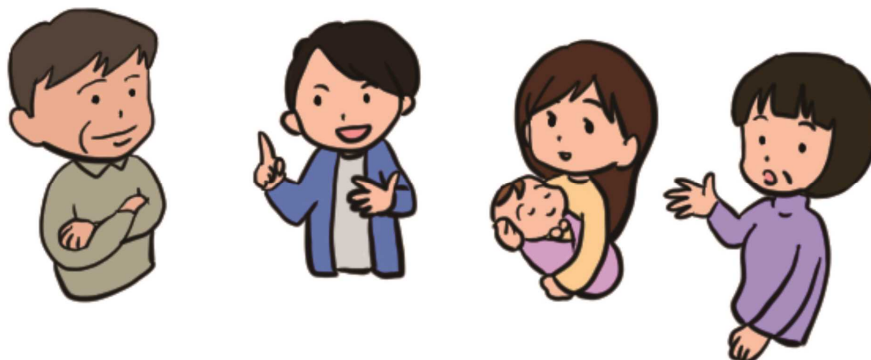
自らの夢を実現するための起業や新たな社会の仕組みづくりにチャレンジする機会がたくさんあることが地域に新たな活力を生みます。地域で誰かのチャレンジを後押しし、支える仕組みを整えることで、夢をかなえたい人たちのフロンティアとします。

【地域住民の声】

- 多様性と寛容性を大事にする地域へ
- 地方こそ起業の場にふさわしい
- 外国人への理解を深める取組が必要
- 根付いて起業する人への支援が必要
- 野心のある若者が増えていくことが持続可能な地域につながる

若者の声

- 豊岡にいながら、アメリカの会社に勤めていたい
- いろいろな人が様々なことをして楽しんでいるような町にしたい



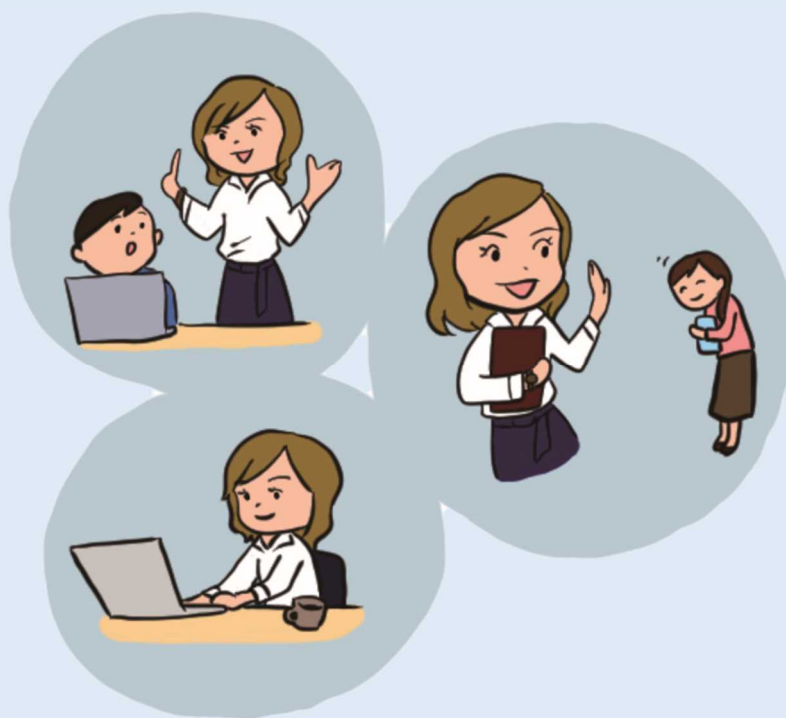
### 【但馬の未来物語Ⅲ（2050年のある日：女性経営者）】

女性起業家として会社を起こしてはや 10 年。女性とわざわざ前置きするのも今や昔のことになった。すでに我が社でも管理職の半数は女性が務めている。性別によらず、働きやすい職場を作るのが社長たる私の仕事だ。

私生活では子どもが生まれて 1 年になる。夫が面倒をみてくれている。男性の育児休暇も当たり前の光景になった。

私も地域に入れば一人の住民。最近、町内にも様々な人が暮らしており、外国につながるのある人も都会からの移住者も多くいる。もちろん、私のように昔からこの地に住んでいる者もいる。いろんな人が当たり前に暮らすようになってから、地域が元気で明るくなったように感じている。一時は廃れた地域の秋祭りも賑やかになり、楽しい時間も増えた。

先月、近所の息子さんがバードカフェをオープンした。大学でアニマルセラピーを学んでいたそうだ。小鳥を連れて介護施設を回り、癒しを届けているらしい。起業家教育や自治体などのバックアップ体制も整っているからか、最近、若者の U ターンや起業が増えている。自分の夢をかなえ、イキイキと暮らす若者を見るのは本当に嬉しいものだ。



次代を担う若者や子どもたちがイキイキ育ち暮らす地域

実現に向けた大切な視点

○自ら活躍する場があり、楽しさを実感できる地域

次代を担う若者や子どもたちには、自分の考えや活動を発表し表現できる場があり、ICTを活用しながら夢や希望をかなえるための学びや進学などの選択肢に恵まれ、イキイキと暮らし、但馬で自分らしく輝いて生きる楽しさを実感できます。また、個を重視した教育の充実など地域を牽引する国際的視野に立った次世代を育てます。

○子育てを地域や社会で支える子育てに優しい地域

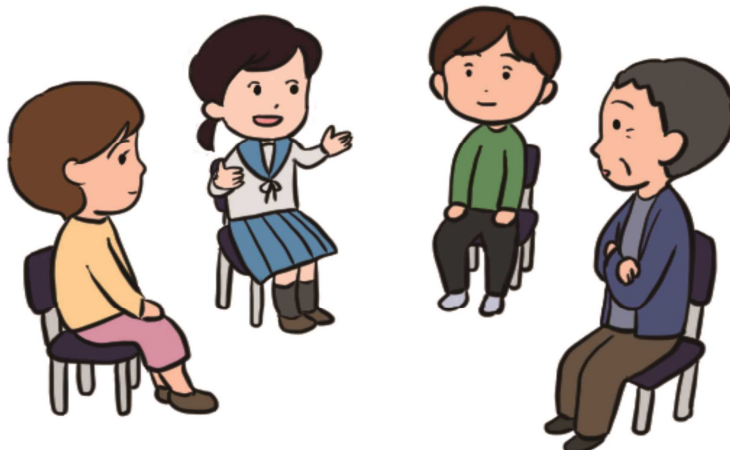
子どもたちが健やかに育つためには、子育ての負担を分かち合う必要があります。そのため、家庭内での子育ての役割の見直し、保育や小児医療の充実など、子育てを家庭と地域がともに支える優しい但馬を実現していきます。

【地域住民の声】

- 地域での子育て支援の充実が必要
- オンライン授業等により教育環境の充実を
- 若い世代が活動しやすい環境づくり
- 若い人たちがより一層イキイキと活躍
- ありがとうと言える子育て社会を
- 行政主体で会社や男性の育児意識改革を

若者の声

- 家族が喜ぶ暮らしやすいサービスが増えてほしい
- 子育てしやすく住みやすい所に住みたい



## 【但馬の未来物語Ⅳ（2050年のある日：子育て世代の男性）】

3歳と小学生と中学生。3人の子どもと妻との5人家族で毎日楽しく暮らしている。地域では、走るのが得意な子、絵を描くのが好きな子、負けず嫌いな子、障がいのある子、それぞれが子どもたちの大切な「個性」として受け入れられ、キラキラ輝いて楽しそうに過ごしている。

来月には、但馬初の若者のためのイベントスペースがオープンする。企画も運営も若者や学生が担い、もちろん主役も若者たち。音楽や劇、フリーマーケットなど、既にたくさんのイベントが決まっているらしい。

進学も昔と変わった。ICTの進展で、但馬に居ながら関東の大学に在学し、高度な専門教育を受けられるようになった。近所には、アメリカのマサチューセッツ工科大学にネット留学した強者もいる。

子どもが生まれた時は、他の男性社員と同様に1年間の育児休暇を取得した。育児に追われながらも、日々成長する子どもと一緒に居られるのは嬉しい時間だ。保育所やこども園には、希望すれば直ぐに入れたし、病気の子どものを預かってくれる病後児保育も充実している。地域全体で子育てを応援する仕組みが整っており、子育てなら但馬だと感じている。子育てに優しい但馬は本当に素晴らしい。



## 【めざす地域像 V】



### 生活環境が充実した暮らしやすい地域

#### 実現に向けた大切な視点

##### ○発展を支える社会インフラの整備

めざす地域像を実現するためには、但馬の発展を支える社会インフラの整備が大切です。ICTなどの新たな技術を積極的に導入し、都市部と遜色のない教育、医療・福祉サービスが提供され、交通・通信などの社会インフラも着実に整備を進めます。自動運転車などの新たな移動手段の導入など、但馬に住む人々が暮らしやすいと感じる生活基盤の整備が必要です。

##### ○安全・安心に暮らせる基盤の整備

暮らしやすい地域となるためには、安全・安心の確保が必要です。新型コロナウイルスの感染拡大や地球温暖化による自然災害の頻発・激甚化など安全・安心を脅かす新たなリスクが出現しています。新たな感染症の発生や更なる未知のリスクにも柔軟に対応し、安全・安心に暮らすことが出来ることが大切です。

#### 【地域住民の声】

- 次世代カーで行きたい所へ
- 住民同士が支え合える交通サービスが必要
- 但馬空港を最大限活用すべき
- 生活と健康を守るため交通インフラは重要
- 最後の最後まで元気に安心して暮らせる社会へ

若者の声

- 人や車などが通りやすい歩道や道路にする
- 子どもから高齢者の方まで、身体的にも精神的にも健康でいる





## 【但馬の未来物語Ⅴ（2050年のある日：高齢の女性）】

但馬に嫁いで40年。子どもたちも結婚し、独り立ちをしている。孫も生まれ、日々穏やかに過ごしている。ただ、持病もあり、今日は月に一度の通院の日だ。運転免許は返納したが、自動運転の路線バスやタクシーが直ぐに来てくれるので以前と変わらず通院や買い物が出来ている。公民館に行けばITサポーターが居て、機械が苦手な私たちでも、診療予約をしたり、病院の先生ともやりとりできるし、処方箋も発行してもらえる。もちろん薬を受け取る方法も複数あって便利だ。

地元の病院では、都市部の専門病院の遠隔医療が受けられるので、但馬にいても高度な医療を安心して受けることができるようになってきている。

子どもは九州で暮らしているが、画面越しにいつでもつながるようになっていて、まるで一緒に暮らしているようだ。盆と正月は、昨年開通した高速鉄道を使って孫と里帰りをしてくれる。ごちそうを用意し、子どもや孫たちと食卓を囲むのが本当に楽しみだ。

過去に大規模地震があり但馬も大きく揺れたが、電力や水道などのライフラインも防災対策が進んでいたため大きな被害はなかった。堤防も強化され、大きな水害が起きることもなくなった。

安心して平穏な生活が送れることに幸せを感じる今日この頃だ。



### 第3章 但馬地域ビジョン 2050 を実現するために

2050年に「但馬の未来の姿」を実現するためには、但馬で暮らすわたしたち、但馬で活動する地域団体、但馬で仕事をする企業、それらを支援する行政が前向きに未来づくりに取り組んでいくことが重要です。

以下に住民の方が参加したワークショップで出た意見などを基に、住民・地域団体、企業、行政で取り組めることを取組アイデア案として記載しました。これらも参考にして自分には何ができるかを考え、お互いに連携・協力しながらビジョン実現に向けて取り組むことが大切です。

#### 1 取組アイデア案（ワークショップの意見などから）

##### 住民・地域団体

- ・ 住民が自ら但馬の自然を知り、体験し、満喫する
- ・ 地域で自然を守る人を育成し、生物多様性を守る
- ・ 祭りや伝統文化を引き継ぐ仕組みをつくる
- ・ 地域活動サークルをつくる、参加する
- ・ 若者、女性を受け入れる環境をつくる
- ・ 「こういう人だからこの役割」ではなく、「皆でできる」よう地域の役割を再構築する
- ・ 地域で若者が楽しめる交流の場をつくる
- ・ 地域で子育てを支える雰囲気をつくる
- ・ ICT活用が苦手な人に教えあう環境をつくる 等

---

【あなたのアイデアは・・・】

---

## 企 業

- ・山陰海岸ジオパークを活用した体験型サービスを提供する
- ・世界を意識した新規ビジネスを立ち上げる
- ・但馬にある日本遺産を活用した商品を開発する
- ・インターネットなどICTを積極的に活用する
- ・テレワーク勤務の導入など多様な勤務環境を整える
- ・高齢者等を積極的に雇用する
- ・社員の子育て支援を充実させる
- ・若者が求める働き方を実現するなど就業環境を整備する
- ・脱炭素社会に向けた取組を推進する
- ・鉄道、バス、航空など公共交通の利便性を高める 等

## 行 政

- ・シビックプライドを醸成する
- ・地域資源の再評価、潜在能力を引き出す支援をする
- ・生物多様性を保全する
- ・空き家や耕作放棄地の情報提供等、移住できる環境をつくる
- ・地域内外を問わず地域の魅力発信を強化する
- ・役割の固定化の解消を促進する
- ・起業やチャレンジを支える仕組みをつくる
- ・画一的でない教育を実施する
- ・子育て世代に対する制度を充実させる
- ・地域に合った公共交通の整備を行う
- ・最先端の「教育」「医療・福祉」「ICTの導入」を促進する 等

**住民・地域団体**

- ・住民が自ら但馬の自然を知り、体験し、満喫する
- ・地域で自然を守る人を育成し、生物多様性を守る
- ・地域活動サークルをつくる、参加する
- ・祭りや伝統文化を引き継ぐ仕組みをつくる
- ・若者、女性を受け入れる環境をつくる 等

協働・連携

協働・連携

**但馬地域  
ビジョン 2050  
の実現**

**企 業**

- ・山陰海岸ジオパークを活用した体験型サービスを提供する
- ・世界を意識した新規ビジネスを立ち上げる
- ・但馬にある日本遺産を活用した商品を開発する
- ・インターネットなどICTを積極的に活用する 等

**行 政**

- ・シビックプライドを醸成する
- ・地域資源の再評価、潜在能力を引き出す支援をする
- ・生物多様性を保全する
- ・空き家や耕作放棄地の情報提供等、移住できる環境をつくる
- ・地域内外を問わず地域の魅力発信を強化する 等

協働・連携

## 2 実現に向けた仕組みづくり

地域ビジョン実現に向けた行動が活発に行われるよう、県民の主体的な取組を促し、支える仕組みをつくっていくことが必要です。

このため、住民・地域団体、企業、行政が、次に示すような地域ビジョン実現に向けた体制づくりや様々な取組を実施するとともに、進捗を点検しながらビジョンを柔軟に見直します。

### 実行プログラムの策定

県は、但馬地域ビジョン 2050 の毎年の実行プログラムとして、「地域戦略プログラム（仮称）」を策定します。

### 地域ビジョンプロジェクト（仮称）の推進

地域ビジョンの実現に向けたプロジェクトを生み出す仕掛けとして、地域の多様な主体をつなぐプラットフォームとなる会議体を設置します。

この会議体は、地域ならではのユニークな取組を生む場となるよう参加者の自主性に委ねて運営します。

### 対話と学びの場づくり

#### ①対話の場づくり

今後も未来を考え続けることが大切です。地域の未来を語りあう場を様々な形で設定します。また、次代を担う若者が自分や地域の未来を考え、ビジョンを素材に地域について学び、議論し、実践する場づくりを高校・大学等と連携して進めます。

#### ②学びの場づくり

住民主体の取組を考える場として、小さな地域単位での多様な学びの場づくりを支援します。また、対話と学びを通じて住民主体の新しい取組が立ち上がることを促し、市町と歩調を合わせて支援します。

#### ③取組の情報発信

手話や音声なども用いた多様な媒体により、ビジョンの実現に向けた取組の情報をわかりやすい形で発信します。

### 推進状況の見える化

#### ①毎年度の点検評価（但馬力指標の改訂）

県では、現行但馬地域ビジョンの進捗状況を測るため、但馬の魅力や豊かさ、これから但馬が伸ばすべきところなどを但馬地域の総合力「但馬力」と定義し、各種調査や統計結果を活用し、但馬力指標を作成しています。

但馬地域ビジョン 2050 についても、5 つの地域像に応じた但馬力指標に改訂し、新たなビジョンの進捗状況を取りまとめて公表します。

#### ②柔軟な対応

社会情勢の変化などの状況に応じて、地域ビジョンを柔軟に見直します。

## 第4章 参考資料

### =目次=

1	但馬地域の現状	
1-1	但馬地域ビジョン策定後の地域の動きと状況変化	20
1-2	データで見る但馬の現状	22
2	住民の声	
2-1	未来の但馬をつくるワークショップ（地域デザイン会議）	25
2-2	地域未来フォーラム（たじま夢フェスタ）	27
2-3	ビジョンを語る会	29
2-4	学生アンケート	34
2-5	個別ヒアリング	37
3	新但馬地域ビジョン検討委員会	41

## 1-1 但馬地域ビジョン策定後の地域の動きと状況変化

項目	ビジョン策定時 (2001年)	バージョン2策定時 (2009年)	2050策定時 (2021年)	変化
1 構成市町 住民自治 等	構成市町1市18町  NPO法人設立件数 1法人	構成市町3市2町 ※平成16～17年の市町合併 により基礎的自治体が再編  NPO法人設立件数 45法人(2010年度末) 県民交流広場の設置 但馬全域で45地区 自治協議会の設置 養父市12、朝来市11	構成市町3市2町  NPO法人設立件数 78法人(9月末) 県民交流広場の設置 但馬全域で74地区 自治協議会の設置 豊岡市29(地域コミュニティ) 養父市18、朝来市11	変化なし  +33法人  +29地区  +35
2 人口 高齢化率 等	人口約20万人  高齢化率25.1% 合計特殊出生率 1.84(全県1.38、2000 年) 65歳以上就業率 28.1%(全県19.0%、 2000年)	人口約18.1万人(2010年)  高齢化率29.8% 合計特殊出生率 1.69(全県1.25、2005年)  65歳以上就業率 26.3%(全県17.7%、2005年) 小規模集落(高齢化率40%以 上、50世帯未満) 107集落 健康寿命 (平均寿命－要介護年齢) ・男性76.6歳(県下3位) ・女性81.6歳(県下2位)	人口約15.7万人(2月)  高齢化率37.2%(2月) 合計特殊出生率 1.68(全県1.48、2015年)  65歳以上就業率 24.7%(全県19.7%、2015年) 小規模集落(高齢化率40%以 上、50世帯未満) 223集落(2019年9月) 健康寿命 (平均寿命－要介護年齢) ・男性78.96歳(県下7位) ・女性84.51歳(県下2位) (2015年)	△2.4 万人  +6.8% △0.01  △1.6%  +116集落  男性 +2.36歳 女性 +2.91歳
3 医療 福祉 等	医療機関 222箇所 医師数 343人 老人福祉施設 70箇所	医療機関 234箇所 医師数 316人 老人福祉施設 106箇所 ドクターヘリ、ドクターカーの導入 (2010年)	医療機関 231箇所(2019年) 医師数 357人(2018年) 老人福祉施設 131箇所 ドクターヘリ出動件数(2020年) 1,812件(1日平均4.9件) ドクターカー出動件数(2020年) 2,615件(1日平均7.1件)	△3箇所 +41人 +25箇所

項目	ビジョン策定時 (2001年)	バージョン2策定時 (2009年)	2050策定時 (2021年)	変化
4 教育	小・中学校数 116校 児童・生徒数 30千人 大学進学率 48.2%	小・中学校数 99校 児童・生徒数 16千人 大学進学率 54.0% (いずれも2010年) コウノトリに関連した環境教育の導入 体力運動能力調査県下1位 (小・中学校男女とも)	小・中学校数 82校 児童・生徒数 11千人 大学進学率 54.5% (2019年度) コウノトリに関連した環境教育の継続	△17校 △4千人 +0.5%
5 産 業	但馬総生産額 6,621億円 観光客入込数994万人 総農家戸数 16,704戸(2000年) 経営革新計画承認件数 8件(県下6位)	但馬総生産額 5,360億円 観光客入込数 931万人 総農家戸数 14,026戸(2010年) 経営革新計画承認件数 25件(県下2位) 地域団体商標数 6件(特許庁認定) 豊岡鞆、豊岡杞柳細工、城崎温泉、但馬牛(うし)、但馬ビーフ、但馬牛(ぎゅう)	但馬総生産額 6,289億円(2018年) 観光客入込数 940万人(2019年) 総農家戸数 9,839戸(2020年) 経営革新計画承認件数 9件(県下6位)(2020年度) 地域団体商標数 10件(特許庁認定) 豊岡鞆、豊岡杞柳細工、城崎温泉、但馬牛(うし)、但馬ビーフ、但馬牛(ぎゅう)、出石皿そば、たじまピーマン、出石そば、朝倉さんしょ	+1,065億円 +9万人 △4,187戸 △16件 +4件
6 交 通 情 報	播但連絡道路全線開通(2000年) 但馬空港開港(1994年)	蘇武トンネル開通(2003年) 北近畿豊岡自動車道整備 春日和田山道路(2006年) 鳥取豊岡宮津自動車道整備 ・香住道路(2005年) ・東浜居組道路(2008年) ・余部道路(2010年) J R余部新橋開通(2010年) 全但バス路線再編(2008年)	北近畿豊岡自動車道整備 ・和田山八鹿道路(2012年) ・八鹿日高道路(2017年) ・日高豊岡南道路(2020年) 山陰近畿自動車道整備 ・浜坂道路(2017年) 但馬空港新型航空機導入 ・ATR42-600型機(2018年) 山陰本線等輸送改善(2013年) 京都丹後鉄道上下分離(2015年)	

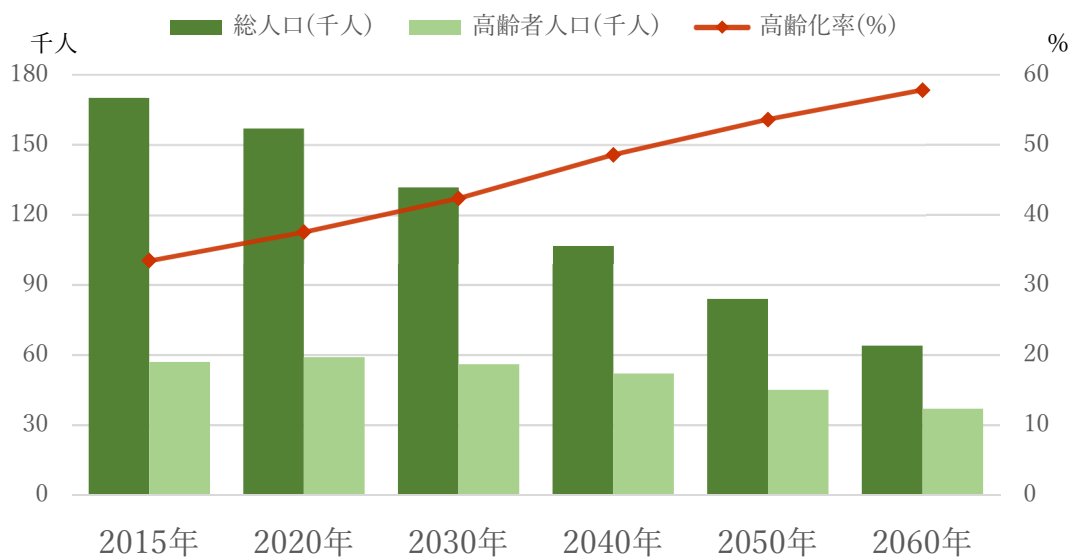


## 1-2 データで見る但馬の現状

### (1) 但馬の人口、高齢化等の予想 (「兵庫県将来推計人口」(2019年11月)より)

	2015年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年
総人口(千人)	170	157	132	107	84	64
高齢者人口(千人)	57	59	56	52	45	37
高齢化率(%)	33.5	37.6	42.4	48.6	53.6	57.8

※高齢者(65歳以上)



- ◆但馬地域は高齢者実数の変動は少ないが、総人口の減少により高齢化率が上昇する。
- ◆但馬全体では106千人減、62%減(2015→60年)  
2015年総人口の半分を超える人口が減少する。
- ◆総人口の減が大きい市町(2015→60年)  
香美町(77%減)、養父市(74%減)

### (2) 但馬地域内各市町の人口予想 (「兵庫県将来推計人口」(2019年11月)より)

	2015年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年
豊岡市(人)	82,250	77,467	67,085	56,141	45,427	35,538
養父市(人)	24,288	21,714	17,059	12,846	9,116	6,228
朝来市(人)	30,805	28,772	24,916	21,032	17,265	13,842
香美町(人)	18,070	16,015	12,297	9,020	6,260	4,102
新温泉町(人)	14,819	13,454	10,774	8,304	6,043	4,284

(3) 遊休農地の増加（農業センサスより）

	2010 年度	2015 年度	2015/2010(%)
耕作放棄地面積(ha)	1,387	1,490	7.4
総農家数(戸)	14,026	12,073	△13.9
販売農家(戸)	7,541	6,234	△17.3

(4) 空き家の増加（住宅・土地統計より）

	2013 年度	2018 年度
空き家率(%)	16.8	17.4
空き家数	12,270	12,994

※公表されていない町分については、県分と公表市町分の合計値の差を 2013 年の空き家数の割合で按分した推計値としている。

(5) 但馬の外国人数（国際交流課資料を基に作成）

	合計数(人)	韓国・朝鮮	中国	ベトナム	ブラジル	フィリピン	米国	その他
2008 年度	1,214	164	642	18	78	162	30	120
2020 年度	1,543	101	312	451	23	290	30	336

※2020 年度は「朝鮮」「インド」に係る市町別人員数は発表されていないため記載なし

(6) 地域内就業率（国勢調査データより算出（域内就業者人口/域内労働力人口））

	域内就業者人口(人)	域内労働力人口(人)	就業率(%)	全県(%)	圏域順位
2005 年度	94,840	99,432	95.4	93.5	2位
2010 年度	84,734	90,310	93.8	93.5	4位
2015 年度	82,817	86,194	96.1	95.4	1位

(7) 観光客入込数（県観光客動態調査（毎年）により確認）

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	全県	圏域順位
入込数(千人)	10,118	10,094	9,888	9,409	136,508	8位

※圏域順位：兵庫県を神戸、阪神南、阪神北、東播磨、北播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路の圏域に分けて比較した際の順位

(8) 但馬の地域GDP、1人あたりGDP（市町内GDP（県統計課）により算出）

	但馬内 GDP (総生産額)(億円)	人口(人)	1人あたり GDP(千円)	就業者1人あたり 生産額(千円)(参考)	1人あたり 所得(千円)(参考)
2016年度	6,209	167,971	3,814	6,778	2,312
2017年度	6,382	165,490	3,856	7,066	2,387
2018年度	6,289	162,791	3,863	6,981	2,420

(9) 安心ブランド数（農林水産事務所にて把握）

	2009年	2021年
品目数	220	297
生産面積(ha)	776	1,778.2

(10) 合計特殊出生率（県健康福祉部社会福祉局情報事務センターが算出）

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
合計特殊出生率(但馬)	1.85	1.84	1.69	1.84	1.68

※地域別合計特殊出生率(H27：県1.48、全国1.45)では、但馬地域が県下1位(1.68)となっている。市町別でも香美町(1.82)を筆頭に但馬の市町が上位を占めている。

(11) 健康寿命（平均寿命—要介護年齢）

（「兵庫県における健康寿命の算定結果」（2017年10月）より）

	県(歳)		但馬(歳)	
	男性	女性	男性(順位)	女性(順位)
2009年度	76.55	80.41	76.63(3位)	81.64(2位)
2015年度	79.62	83.96	78.96(7位)	84.51(2位)

(12) 百歳長寿率（人口1万人あたりの100歳以上高齢者数）

（県高齢政策課公表資料より算出）

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	県平均	圏域順位
人数(人)	14.7	13.5	16.2	18.9	21.2	12.4	1位

※2021年11月試算

## 2-1 未来の但馬をつくるワークショップ（地域デザイン会議）

地域住民からの意見を広く集めるため、「2050年の但馬地域の望ましい将来像について自由に語り合う」をテーマとしたワークショップを開催しました。

対象者：但馬地域に在住・在勤の方

内容：

（セッション1）

但馬地域の望ましい将来像は？

（セッション2）

望ましい将来像実現のためにできること

総参加者数：89名



### 第1回

日時：2020年10月10日（土曜日）13時30分～16時00分

場所：コウノトリ但馬空港 多目的ホール（オンライン併用）

参加者数：29名

主な意見：

（セッション1）

- 国籍や障がいの有無等関係なく「ひと」として皆が生活している
- 誰もが受け入れてもらえる、打ち解けられる但馬
- 豊かな自然、歴史を大切に守る
- 若い人たちがより一層生き生きと活躍

（セッション2）

- 様々な居場所作り
- 地域のコミュニティーセンターの充実
- 外のひとを受け入れられるように
- 仕事以外にも趣味や遊びを大切に



## 第2回

日時：2020年11月07日（土曜日）13時30分～16時00分

場所：兵庫県立但馬長寿の郷 郷ホール（オンライン併用）

参加者数：28名

主な意見：

### （セッション1）

- 若者も高齢者も楽しくコミュニケーションが取れる場がある
- オンラインを活用し、様々な業種の人が但馬で暮らせるように
- 誇りが持てる但馬
- 豊かな自然、生物、植物を引き継ぐ

### （セッション2）

- 祭り、伝統文化を引き継いでいける仕組みの構築
- 高齢者とのふれあいの場をつくる
- 恵まれた環境を知り、感謝する
- 歴史を身近に興味を持つ環境をつくる



## 第3回

日時：2020年11月29日（日曜日）13時30分～16時00分

場所：浜坂多目的集会施設 多目的ホール（オンライン併用）

参加者数：32名

主な意見：

### （セッション1）

- 自然がいっぱい、いいところが沢山残っている、つながりがある優しい社会
- 但馬がある！但馬をすきでいたい！必要とされていたい！
- 心の余裕が生まれる豊かな生き方ができる
- 他の地域から羨ましがられる地域

### （セッション2）

- 耕作放棄地を再耕し、農業従事者を募集する
- 自分達の地域問題を自分事として、皆で取り組む
- 色んな人がいることを知る
- 医療・教育など生活環境の充実



## 2-2 地域未来フォーラム（たじま夢フェスタ）

2020年度の地域未来フォーラムでは、「2050年の但馬地域の望ましい将来像について自由に語り合う」をテーマとしたワークショップを開催しました。



対象者：但馬地域に在住・在勤の方

内容：

（セッション1）

下記5つの方向性でイメージできる暮らしは？

- ①豊かな自然など但馬らしさの継承と世界の中で輝く新たな魅力の創造
- ②垣根を越えた新たな人との交流・繋がりの実現
- ③多様性を認め、誰もが活躍し、夢の実現に向けチャレンジできる地域
- ④子どもたちが生き生き育ち暮らす地域
- ⑤暮らしやすい生活環境の充実

（セッション2）

めざすべき但馬の将来像～キャッチフレーズ～は？

### 2020年度（たじま夢フェスタ）

日時：2021年3月28日（日曜日）13時00分～16時30分

場所：但馬文教府ふるさと交流館 多目的ホール（オンライン併用）

参加者数：46名

主な意見：

（セッション1）

- ①今ある資源が全国、世界が羨むものに
- ①親子で自然を楽しめる
- ②色々な言葉が飛び交う但馬
- ②住民発信のコミュニティが増える
- ③性差、年齢等に囚われず、発言できる場がある
- ④平均化するのではなく、個性と協力ができる環境
- ⑤次世代カーができ、行きたいところに行ける

（セッション2）

- 幸せを渡し合う但馬
- 自信と誇りを持った但馬国の復活
- いきいきワクワク楽しい但馬
- 全世代が自慢できる魅力あるまち
- 魅力溢れる但馬 豊かさに自信あり
- 但馬が癒やしのワンダーランド

2021年度の地域未来フォーラムでは、「兵庫・但馬地域の未来について」をテーマとした意見交換会を行いました。

対 象 者：但馬地域に在住・在勤の方  
内 容：「兵庫・但馬地域の未来について」を  
テーマとした地域住民との意見交換



## 2021 年度

日 時：2021年10月30日（土曜日）13時15分～14時30分

場 所：兵庫県但馬県民豊岡総合庁舎 401 会議室

参加者数：10名

主な意見：

- 会社や家の周辺以外で、楽しく過ごせるようなコミュニティが増えて欲しい
- デジタルだけでなくリアルも大切にできる未来
- 子ども達が多様性に触れられる地域
- 新しいものを作るだけではなく、昔からあるものと若い人の連携も大切に
- 芸術文化を通じて地域の方々と繋がりを
- 「兵庫です」「但馬です」の様なエリアの感覚やボーダーがなくなる
- 枠組みを意識し過ぎずに広い視野で物事を見るべき
- すみませんとかごめんなさいではなく、ありがとうって言って子育てできる地域
- 若い人、移住者を受け入れられる体制づくりが必須
- 世界に誇れる但馬の魅力をどう活用し、未来を創っていくのが重要

## 2-3 ビジョンを語る会

「新但馬地域ビジョン」の検討にあたり、新地域ビジョン案の方向性の絞り込みに活用するため、また、参画と協働によるビジョンづくりの機運醸成を図るため、県民と地域の将来像について意見交換を行いました。

内 容：但馬地域に在住、在勤の方々が日頃から抱えている想いや、地域の将来について考え、意見を交換

総参加者数：176名

### 第1回

日 時：2020年6月28日（日曜日）15時10分～16時20分

場 所：但馬県民局 301会議室

参 加 者：新但馬地域ビジョン検討委員会委員の声掛けにより集まった地域住民  
（県側出席者：副知事、県民局長ほか）

参加者数：19名

主な意見：

- 当たり前と思っていることをもう一度再認識して発信する
- 世界の中の但馬という視点で未来を語ることが大切になる
- オンライン教育は先生のアップデートが必要
- 子どもに心揺さぶる体験教育を
- 経営者自身が子育てに関わることが大切
- 最後の最後まで元気に暮らせる社会へ





## 第2回

日時：2020年9月6日（日曜日）13時25分～15時10分

場所：朝来市山東生涯学習センター 大集会室

参加者：新但馬地域ビジョン検討委員会委員の声掛けにより集まった地域住民  
（県側出席者：副知事、県民局長ほか）

参加者数：15名

主な意見：

- 多様性と寛容性を大事にする町としてアピールしてはどうか
- 学生のうちにたくさんの刺激を与えて将来の夢を広げるべき
- 県民に愛される但馬ブランドを育てる
- 生活と健康を守るためにも交通インフラは重要
- 地元を大いに楽しんでいる大人がいることが大事
- 子供達が将来、戻ってきたいと思える地域に



## 第3回

日時：2020年11月19日（木曜日）19時30分～21時00分

場所：アール・ベル・アンジェ豊岡

参加者：但馬4青年会議所会員

（県側出席者：副知事、県民局長ほか）

参加者数：38名

主な意見：

- オンライン授業等を活用することにより、教育環境を充実させる
- 若い世代が「こんなことをしてみたい」と考えた時に活動しやすい環境づくり
- 但馬空港を最大活用すべき
- 5Gの整備が人口流出減や流入増に寄与
- 移住促進には教育と子育ての充実が大切
- 野外での体験教育は大切にすべき



## 第4回

日時：2020年11月26日（木曜日）15時15分～17時15分

場所：兵庫県和田山庁舎 301 会議室

参加者：但馬地域農業経営士・女性農業士  
（県側出席者：副知事、県民局長ほか）

参加者数：17名

主な意見：

- 人手不足解消のための組織が必要
- 多様な働き手を確保
- 子どもたちへの農業教育
- 後継者の確保
- 但馬には仕事があるのだと情報発信
- 県民全員が自分たちで働き、そのお金で食べていけるという状況が、将来的に必要なのでは



## 第5回

日時：2020年11月29日（日曜日）16時15分～17時20分

場所：浜坂多目的集会施設 和室会議室

参加者：第3回未来の但馬をつくるワークショップの参加者等  
（県側出席者：副知事、県民局長ほか）

参加者数：14名

主な意見：

- 但馬内での繋がりが大切になっていくのではないかと
- 地域の子どもに但馬の自然を体験してほしい
- 船員の確保が、漁業存続の一番の課題
- 外国人への理解を深める取組が必要
- 田舎だからこそデザインにこだわるべき
- 地元の人が地元の良さを知る必要



## 第6回

日時：2020年12月3日（木曜日）15時00分～17時00分

場所：アイティ7階豊岡市民プラザ 多目的ホール

参加者：但馬地域未来創生会のメンバー

（県側出席者：副知事、県民局長ほか）

参加者数：39名

主な意見：

- 野心のある若者が増えていく地域こそ、30年後に民間の力で持続可能な地域
- 地域での子育ての支援の進展が必要
- 次世代を担う若者達に胸を張って但馬に帰っておいでと言える環境に
- 働き方を見直し、柔軟な社会に
- 地方こそ起業の場にふさわしい
- 自然をもっと活用できる環境整備を



## 第7回

日時：2021年6月16日（水曜日）10時00分～12時30分

場所：オンライン開催

参加者：但馬地域の子育て世代

（県側出席者：県民局長、副局長ほか）

参加者数：16名

主な意見：

- お母さんと地域の活動がもっと密になればいいなと思う
- 行政主体で会社や男性の育児に対する意識改革を
- 子どもの目線で環境整備を
- 人との関わりを大切にし、楽しいと思える但馬に
- 但馬の自然に触れ、五感を刺激するような環境で育てることを大切に
- 他地域の子どもとの交流も必要



## 第8回

日時：2021年7月16日（金曜日）14時00分～15時30分

場所：芸術文化観光専門職大学 教育研究棟2階第1会議室

参加者：芸術文化観光専門職大学生

（県側出席者：県民局長、地域政策室長ほか）

参加者数：9名

主な意見：

- 国内や県内で、但馬地域を見つけてもらえていない可能性があるので、もっと他地域と関わっていくべき
- 夜の観光をもっと強くすべき
- 演劇文化の拠点になったらいいなと思う
- 自信を持って地元を広めたい、伝えたいと言いやすい環境づくりが大事
- 女性が働きやすい環境が必要



## 第9回

日時：2021年8月17日（火曜日）13時30分～15時00分

場所：但馬県民局豊岡総合庁舎 401会議室

参加者：但馬地域の移住者

（県側出席者：県民局長、副局長ほか）

参加者数：9名

主な意見：

- 大人は自分の仕事をしながらおもしろいことをどんどん創り出す
- 豊かな自然を活かした仕事で食べていける仕組み
- 住民同士が支え合える交通サービスが必要
- 行政は行政、地域は地域ではなく役割分担
- 子どもの自主性を育む教育という選択肢
- 地域に根付いて起業する人への支援



## 2-4 学生アンケート

将来の主人公である子供たちの夢や希望、地域への想いを「新但馬地域ビジョン」へ盛り込むため、但馬地域内の小学生、中学生及び高校生に対し、アンケート調査を実施。

実施期間： 2020年10月16日（金）～11月16日（月）

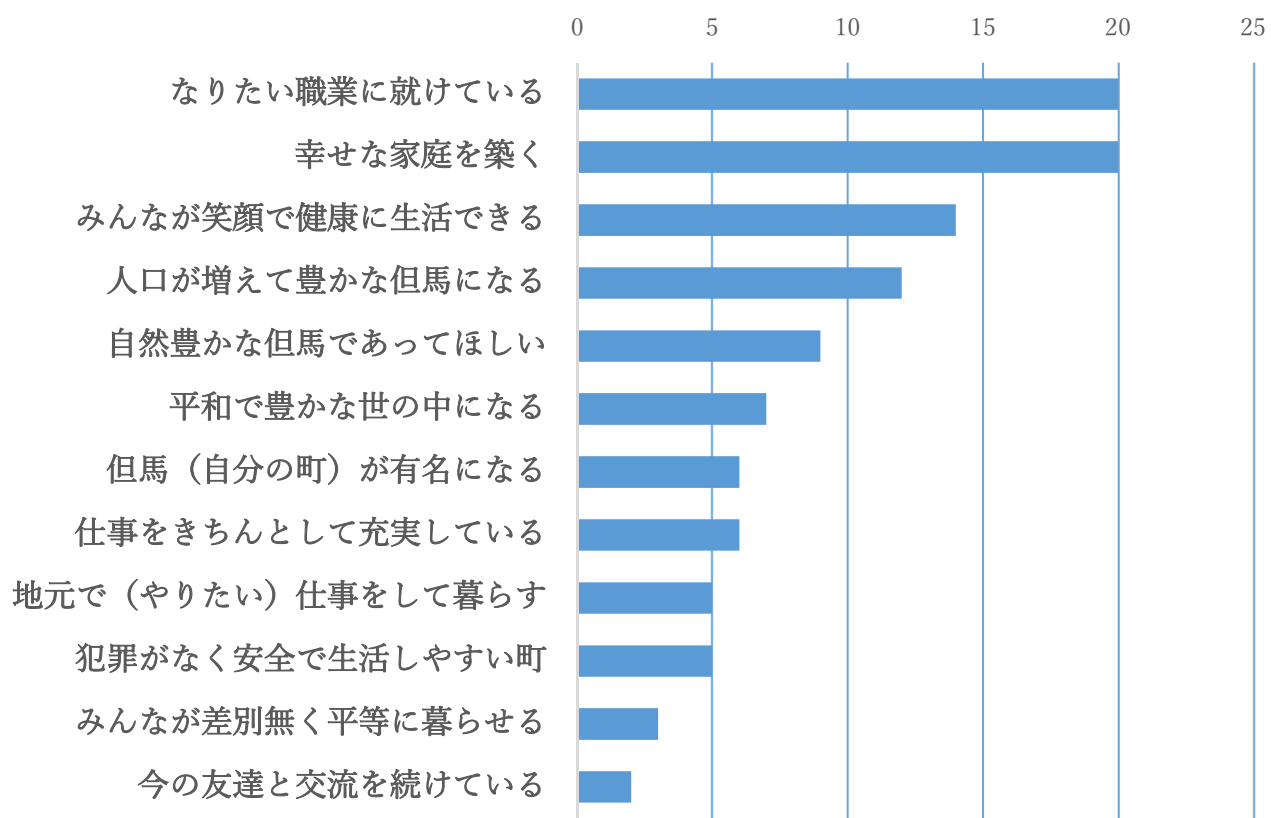
対象校数： 小学校62校、中学校22校、義務教育学校1校、高等学校14校 計99校

対象者： 但馬の小学校の児童会長、中学校及び高等学校の生徒会長 等

回答者数： 小学生61人、中学生19人、高校生14人 計94人（全質問同数）

### 2050年に描くあなたの幸せは何ですか？

（複数回答：回答件数）

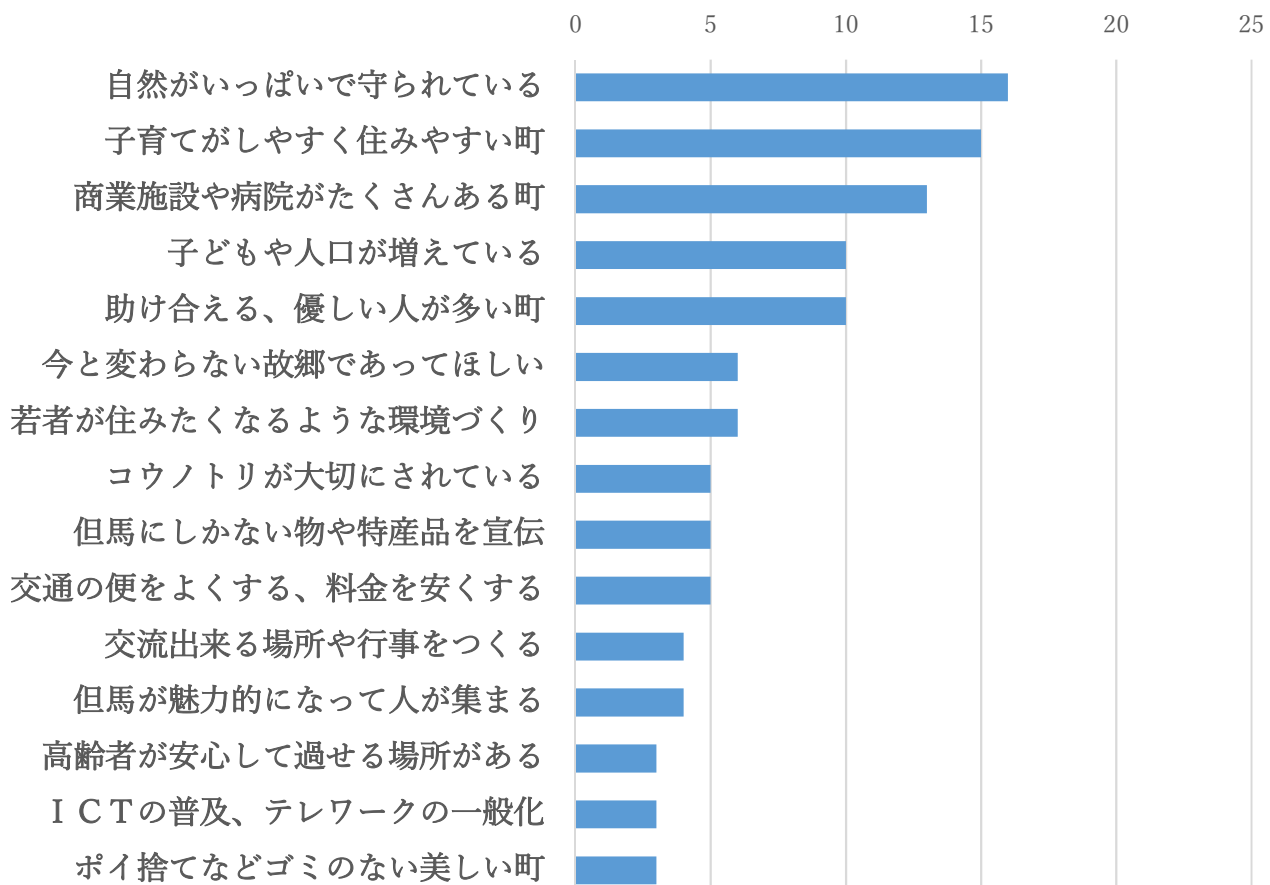


#### 【その他に出た意見】

- ◎いじめがなくなっている社会
- ◎自然にやさしいエコ活動をしている町
- ◎多様性が認められて、楽しめる町
- ◎都会でも田舎でも同様に仕事ができる社会
- ◎但馬の魅力が世界中に知れ渡り、訪れた人と住民が交流できること
- ◎SDGsの世界的な問題が解決されて「本物の平和な世界」になること

## 幸せ実現のために2050年の但馬はどうあればいい？

(複数回答：回答件数)

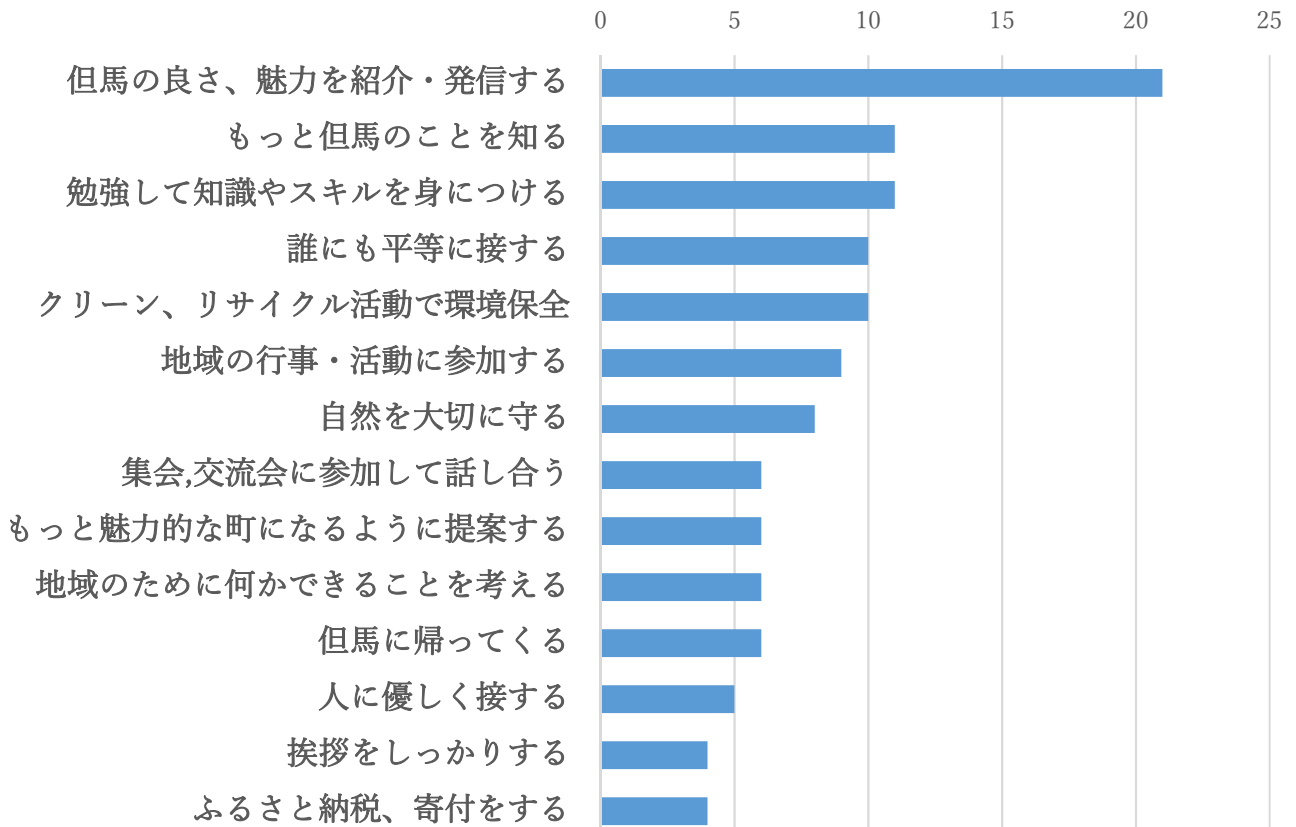


### 【その他に出た意見】

- ◎勤め先がある、働く場所を増やす
- ◎観光やイベントで集客する
- ◎今より経済が発展している
- ◎エコに配慮した生活様式
- ◎挨拶をしっかりとる人がたくさんいる町
- ◎働きやすく幸せに暮らせる町

## その但馬を実現するためにあなたができることは？

(複数回答：回答件数)



### 【その他に出た意見】

- ◎新たな特産品をつくる
- ◎生き物を大切にする
- ◎他の地域に出ても、但馬を思って大切にする
- ◎健康に気をつけて、自分の命を大切にする
- ◎但馬にとって大切なモノを見つける
- ◎地産地消。地元の物を食べ、地元で買う

## 2-5 個別ヒアリング

検討委員会の議論を踏まえ、地域のキーパーソン、先進的な活動をしている事業者・地域団体等へのヒアリングを実施し、検討委員会が出た意見（キーワードなど）の更なる深掘りを行いました。

主なヒアリング項目：

- 活動に関して
  - ・対象者（県民・企業・団体）が感じている地域や社会への問題意識・課題
  - ・その課題等に関する過去・現在の潮流や環境変化
  - ・未来に繋がるポジティブな動きやトピックス・データ
  - ・対象者の活動や取組の目的意識や構想、地域や社会の将来像、現状分析
  - ・具体的な取組内容
- 但馬地域の将来像
  - ・地域の課題、魅力・地域資源、将来性などに関する認識
  - ・こうありたい、なってほしいという地域や社会の将来像

### 30代男性（経営者） 移住

日時：2020年10月27日（火曜日）10時00分～10時40分

主な質問と回答

Q.なぜ移住先として但馬を選んだのか。

A.海沿いの竹野に魅力を感じて移住してきたが、竹野じゃ無きゃ駄目とは思っていなかった。ザ・田舎での昔ながらの暮らしに憧れていた。竹野は、海が美しく、自然豊か。地域の人々も親切。移住相談の市役所の方が頼りになりそうだった。

Q.但馬の暮らしの良いところ、気になるところ。改善策提案。

A.地域で支え合えるところ。子育て経験者の方々が助けてくれる。世代間のコミュニケーション不足・分断を感じる。交流や助け合いをより深め、強めていくべき。

Q.2050年の但馬のあるべき姿（目指すべき将来像）は何か？

A.「多世代交流」が行われる社会。また、これからの時代は、女性中心に考えるべきではないか。



## 20代男性（農業従事者） 移住

日時：2020年10月29日（木曜日）15時00分～15時50分

### 主な質問と回答

Q.なぜ移住先として但馬を選んだのか。

A.大学時代に海外に行って、お金は食べられないが、農産物を作れば最低限生きていけるという考え方を知る。古里ワーキングホリデー制度で無償のシェアハウスがあったのが但馬。農業の師匠ができ、人との繋がりが出来たので移住した。

Q.但馬の暮らしの良いところ、気になるところ。改善策提案。

A.自分で仕事を始めたい人には良いのではないかと。感覚的にだが、農村が良い距離感のコミュニティになりオープンになりつつある。この地域の人々は、優しく何かと気にかけてくれる。地域の祭りや集会は経験が無く新鮮。自分は楽しめている。

Q.2050年の但馬のあるべき姿（目指すべき将来像）は何か？

A.演劇とか絵等を但馬全域に広め、最先端の文化を発信する地域になってほしい。生活はある程度でき、自分のやりたことが実現できる地域だと良いと思う。

## 40代男性（経営者） 移住

日時：2020年11月4日（水曜日）14時30分～15時20分

### 主な質問と回答

Q.なぜ移住先として但馬を選んだのか。

A.2010年に竹田城跡を見に来た時に、この地域は悪くない印象を持った。移住イベントでの朝来市役所の方の熱意が最後の決め手になった。

Q.但馬の暮らしの良いところ、気になるところ。改善策提案。

A.前例の無いことをしても許容される社会になってほしい。

Q.2050年の但馬のあるべき姿（目指すべき将来像）は何か？

A.多様性を受け入れる地域であって欲しい。尖った、世界でNo.1の何かを目指すべき。色々な国の人々を受け入れる気風のある地域なれば、刺激を受けてより良い地域へ。中央アジアのタジキスタンも多様性の国。但馬も「タジキスタン」を名乗り、海外に開かれた但馬であって欲しい。

## 40代男性（デザイナー） 移住

日時：2020年11月6日（水曜日）10時00分～10時40分

### 主な質問と回答

Q.なぜ移住先として但馬を選んだのか。

A.年齢を重ねる毎に地元への愛着、望郷の念が湧いてきた。

Q.但馬の暮らしの良いところ、気になるところ。改善策提案。

A.但馬より都市部の方が子供には刺激が多いのではないかと。やりたいことを選択肢も多い。

Q.2050年の但馬のあるべき姿（目指すべき将来像）は何か？

A.住んでいる人が心豊かに生活できる地域。カニと温泉だけでなく他の産業ももり立てる必要がある。但馬全体が自然のテーマパークだと思う。子供達が自然の様々な刺激を受け、自然の面白さを経験できる。その魅力を伝えて行くべき。

## 60代男性（経営者） 産業

日時：2020年10月29日（木曜日）15時00分～15時50分

### 主な質問と回答

Q.業界の今後はどのようなビジョンになっているか。

A.1957年の創業以来、カメラ部品メインでやっていた。デジタルカメラとなり、スマホが普及し減少している。デジタル化により部品点数は減っていくが、残っていくモノはあると思いで、そういったところを探し事業を継続しようとしている。

Q.時代の変化にどう対応していくか。

A.日本は人口減少しているが、世界規模では人口は増加している。マーケットは拡大しているが対応できない。物作りにおいて、日本が進出して成り立つビジネスが減っていく。機械や人材が増え、一部を除いてわざわざ進出する必要がない。

Q.2050年の但馬のあるべき姿（目指すべき将来像）は何か？

A.空飛ぶ車等により物理的な距離の解消。但馬空港ICができて便利になった。様々な場所へ短時間で行き来できるようになればいい。

## 40代女性（経営者） 産業

日時：2021年3月17日（水曜日）11時00分～12時05分

### 主な質問と回答

Q.業界の今後はどのようなビジョンになっているか。

A.その地域に行ってこそできる体験でないと呼び込めない。竹野もジオカヌーは人気が高い。小物づくり等の小さな体験サービスは、旅行者の欲求を満たすのか疑問。夏はある程度人が来るが、夏以外の魅力を考えていかないといけない。

Q.時代の変化にどう対応していくか。

A.新しいツーリズムの形としてワーケーションも可能性を感じる。外国人の従業員も何人かいて、すごく優秀。地域の産業を支える人材として、外国人が増えてくる。

Q.2050年の但馬のあるべき姿（目指すべき将来像）は何か？

A.田舎は暮らしやすいが、高齢化は心配。観光業のことしか分からないが、若い人が起業して活躍できる環境はあると思う。ライバルが少ない。民泊などの規制も緩和されれば、新しい人が入ってきやすくなる。若者にたくさん入ってきてほしい。

### 3 新但馬地域ビジョン検討委員会

本検討委員会では、社会潮流、地域の課題や将来像に関する調査研究と、それを踏まえた但馬地域をめざす未来の姿を示す新たな地域ビジョンの検討を行いました。

#### ○委員一覧

氏名	所属・役職
草郷 孝好	【委員長】 関西大学社会学部教授
太田 博章	【副委員長】 第8期但馬夢テーブル委員会委員長
井内 善臣	兵庫県立大学名誉教授
菊池 義浩	仙台高等専門学校総合工学科建築デザインコース准教授
木築 基弘	第10期但馬夢テーブル委員会委員長
西賀 真紀	第10期但馬夢テーブル委員会委員
柴崎 明郎	株式会社トキワ代表取締役
関 綾乃	第10期但馬夢テーブル委員会委員
高谷 美智子	株式会社ピーナッツ代表取締役
松岡 千都	ブンダバー代表
宮下 友香	Qumクリエイト代表
山縣 奈緒子	与布土地域自治協議会はぐくみの郷部会長
井上 靖彦	豊岡市政策調整部政策調整課長
田村 亘	養父市経営企画部経営政策課長 兼 国家戦略特区・地方創生課長
和田 幸司	朝来市市長公室総合政策課長 (R2.4~R3.3 松本 昭浩)
川戸 英明	香美町企画課長 (R2.4~R3.3 水垣 清和)
中井 勇人	新温泉町企画課長 (R2.4~R3.3 岩垣 廣一)

### 第1回

日時：2020年6月25日（木曜日）13時00分～16時00分

場所：オンライン会議

参加者数：17名

- 議題：（1）検討委員会委員長の選任について  
（2）新しい将来ビジョンの検討の進め方について  
（3）但馬地域の現状について  
（4）検討委員会の今後の進め方について

### 第2回

日時：2020年8月5日（水曜日）10時00分～12時00分

場所：オンライン会議

参加者数：14名

- 議題：（1）新地域ビジョンで検討(重視)すべき点について  
（2）地域住民によるワークショップ・個別ヒアリングの進め方について

### 第3回

日時：2021年1月25日（月曜日）13時00分～15時00分

場所：オンライン会議

参加者数：15名

- 議題：（1）住民意見の収集状況について（報告）  
（2）新但馬地域ビジョンの柱立てについて  
（3）検討委員会の今後の進め方について  
（4）その他 「令和2年度たじま夢フェスタ」について

#### 第4回

日時：2021年4月16日（金曜日）13時00分～15時00分

場所：オンライン会議

参加者数：17名

議題：（1）将来構想試案について  
（2）新但馬地域ビジョンの柱立てについて  
（3）新但馬地域ビジョンのめざすべき将来像について  
（4）新但馬地域ビジョンの全体構成について

#### 第5回

日時：2021年10月18日（月曜日）13時00分～15時00分

場所：オンライン会議

参加者数：14名

議題：（1）新但馬地域ビジョンのめざす未来の姿について  
（2）新但馬地域ビジョン案について

#### 第6回

日時：2021年12月20日（月曜日）13時30分～15時30分

場所：但馬県民局豊岡総合庁舎 401 会議室（オンライン併用）

参加者数：16名

議題：（1）但馬地域ビジョン 2050（案）について  
（2）今後のスケジュールについて

## 第7回

日 時：2022年3月7日（月曜日）14時00分～15時25分

場 所：オンライン会議

参加者数：14名

議 題：（1）県民意見提出手続（パブリック・コメント手続）結果について  
（2）但馬地域ビジョン2050（案）について